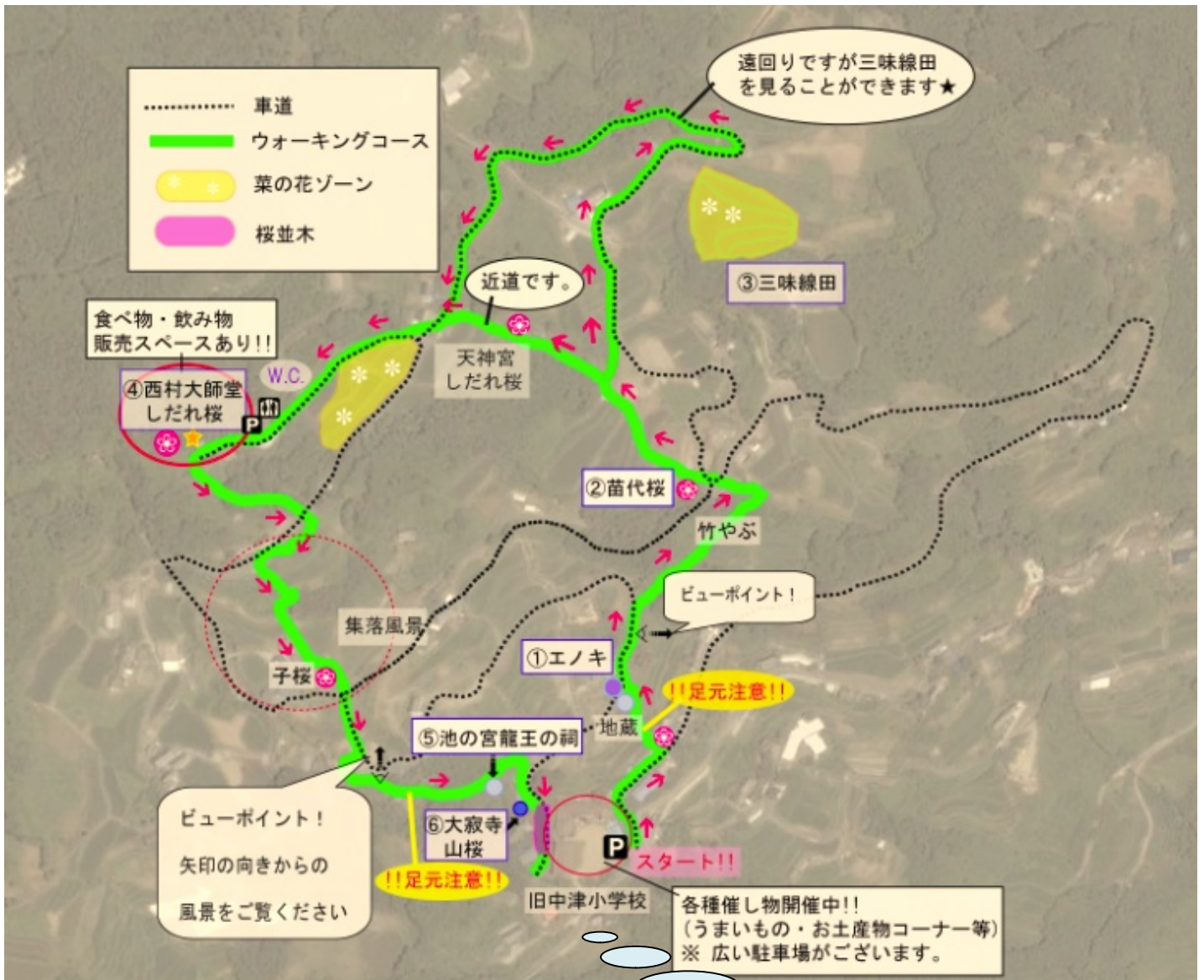


中津さくらまつり



①エノキ

樹齢 200 年以上。幹周りは約 2m30cm。昔、夏場に牛を引いていた人や牛がこの木の下で涼んでいたことから、エノキ周辺の地は「すずみ」と呼ばれている。

②苗代桜

地元では、「なわしろざくら」と呼ばれる。田植えのため、3月末に苗代田を作るが、この木の桜の開花を目安に行われていた。樹齢は 200 年以上である。

③三味線田

三味線のバチ形をした地区一番の美田。形が美しいだけでなく、水などの条件も良い。

④西村大師堂

臨済禅宗が中心であった中津地区に、真言宗のお堂として初めて建立された。今でも月に 1 度、念仏の寄合いがある。

大師堂のしだれ桜

家を包み込むほどの大きさのしだれ桜。樹齢 230 年のエドヒガンである。大師堂が開かれた時に、山にあったものを植えたのではないかとされており、現在では中津のシンボルとなっている。

⑤池之宮の祠

昔、大きな蛇がいて人々はこれを恐れていた。それを聞いたお遍路さんが「ちょっとムカデになってみる。」と言ってムカデにして退治し、それを池之宮として祀った。

⑥大寂寺

歴史は古く、臨済宗妙心寺派に属する寺である。建立は、源頼朝の遠縁にあたる源頼政によるもので、寺の南側には彼の記念碑が建っている。また、頼政の位牌が置かれていたが、大火により焼失した。

ウォーキングコースで
「中津まるごとミュージアム」を
お楽しみください♪